

講演会の内容全般について、良かった点を具体的に教えてください。

- ・親目線で講演していただき、自分が普段子育て(ADHD・高機能広汎性発達障がい)している中で、封印していました気持ちや心話すのを聞いていて共感しほっとした気持ちになりました
- ・発達によって出来ることのタイミングや段階があるというお話が胸にひびきました。あせらず息子の成長を喜びながらも10年後、20年後の向き合い方がわかった気がします。
- ・親の立場から講演聞けて心が少し軽くなりました。
- ・資料をいただけたので、ゆっくり読みたいと思います。ぜいたくを言えば、パソコンの画像のものを全てを印刷していただきたいと思いました。実際に、我が子を育てた方の話を聴けて共感できました。村田先生の話術に引き込まれました。
- ・「理解者が増えるほど安定する」納得です。どうやって地域の中で生きていくか考えていく事がキーワードだと思いました。親として支援者としてのお話は自分の立場とも重なりとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・お話を聞いて元気をもらいました。先を見据えた上で希望をもって今を大切に、子ども支援を頑張ろうと思いました。親ががんばり過ぎず、周りを上手にまきこむ言葉、改めて身にしみました。
- ・自閉症ってあまりわかってい wasn't でしたが、今私の家に1月に1回の割合でお話にきます。その子は中学1年生になり、私のそばに来て鉄道の話聞かせてくれます。SLがこう、何がこう、本当に素晴らしい子どもに出会って自閉症を知りました。
- ・スライドを見やすくして欲しかった。
- ・多くの引き出しの中にひとつ、ふたつを取り出したお話だったと思います。親の立場、教員の立場、どちらの立場でもお話できます。ピンポイントのお話をできれば聞きたかったです。機械があれば、もう一度お聞きしたいです。

他 多数

第1回目の講演会の参加者は、北見市内はもとより周辺市町村からの参加も多くありました。講演内容は、当事者やその家族が障がいについて正しい知識を持つことを目的に、北海道高機能広汎性発達障害児親の会の会長である村田昌俊氏に講演をお願いしました。当日は夏休みということもありまた村田先生が現役の教師であるということから、小・中学校の先生の参加が多数ありました。また役所関係、介護福祉関係からの参加もあり連携をとりたい関係者が揃いましたが医療関係からの参加がなく残念でした。

講演内容は、「我が子の育ちから学んだこと」と演題にあるように、子育てをしてきた中でのエピソードもあり親にとっても、支援者にとってもわかりやすく共感できました。

アンケート結果からはみなさんに、ご満足いただけたようです。「どのような点がよかったですか？」という問いに対しては、多数の方がその他の欄に、良かった点を具体的に書いていただきました。会場でのスライドが後の席だと見にくかったこと、配布の資料と講演会の内容が少し違っていただけにご意見をいただきました。参加者のみなさんは、真剣に講演者のお話を聴きにいらしたのに、準備が不十分だったと反省しました。次回に活かしたいと思います。